

保育おおさか

平成17年3月1日 第355号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

「子育て支援保育士事業」を創設

大阪府は、平成17年度当初予算案を2月18日に発表した。保育関係予算についてのポイントは、モデル事業を通して、総合施設の整備内容や保育内容について調査・検討する「総合施設モデル事業」や、在宅の子育て支援に目を向けた「子育て支援保育士事業」の創設である。主な概要は下記のとおり。

事業名	事業費	事業内容の説明
(1) 多様な保育サービスの充実		
①総合施設モデル事業【新】	360万円 0円	「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設」に関して、モデル事業を通じ制度の枠組みとなる職員配置や施設設備のあり方、教育・保育内容などについて調査・検討
②保育所整備事業	22億3,205万3千円 36億6,298万5千円	保育所の待機児童ゼロの実現などをめざし、保育所の増設、定員増を伴う増改築などの保育所の整備を推進 ・民間保育所(25か所) 創設 16か所 増築 7か所 改築 2か所
③認可外保育施設の認可化の促進事業	266万6千円 266万6千円	認可外保育施設の認可保育所への移行準備の支援や認可に当たっての環境の改善に対し、必要な経費を助成
④送迎保育ステーション事業	886万6千円 2,069万8千円	送迎保育ステーションを利便性の高い場所に設置し、空き保育所への送迎、集合型延長保育、一時保育や休日保育を実施する市町村に対し助成
⑤保育所運営費補助金	29億 409万1千円 33億 140万3千円	多様化する保育需要に対応した保育内容の充実を図るため、延長保育などの特別保育事業を実施する市町村に対して補助
(2) 「在宅子育て家庭」の支援強化		
①子育て支援保育士事業【新】	1億1,200万円 0円	在宅の子育て家庭に対する支援が推進されるよう、子育て支援保育士を配置し、地域の親子等の子育ち・子育て支援の活性化を図る民間保育所などに対し助成
②家庭支援推進保育所事業	1億 81万2千円 1億6,030万7千円	ひきこもりがちな家庭や家庭環境に配慮を要する入所児童及びその家庭を対象に、家庭訪問や育児相談・親子教室の実施など保育所機能の地域展開を行う市町村に対し助成
③親子の交流の場設置運営事業	1億3,317万9千円 4,541万7千円	在宅の子育て家庭の親子が地域の身近なところで気軽に集い、子育て支援を受けることができる交流の場の設置運営を行う市町村に助成
④地域子育て支援センター事業	3億1,704万5千円 3億6,209万3千円	保育所などにおいて育児相談、子育てサークルの支援などを行う地域子育て支援センター事業を実施する市町村に対して助成

上段：平成17年度当初 下段：平成16年度当初



今年1月17日、阪神淡路大震災10周年を迎えた。当時私は、神戸市西区に居を構え、多忙なサラリーマン生活を送っていた。

快速電車に乗車するべく、出勤準備をしていた5時46分、「ゴー」という唸り音とともに揺れが始まった。蛍光灯が飛び、真つ暗な中、ガラスや食器の割れる音。何分経過しただろう、揺れがおさまった。

妻、そして長女(当時小1)に、「大丈夫か?」と大声で叫んだ。二人とも大丈夫の返事。しかし、2歳の長男からの返事はなかった。もしやタンスの下敷きに、と思いい、真つ暗な中おそるおそる部屋に入り、布団を覗き込むと、恐怖のあまり震えていた。その横でタンスが壁ぎわから60、70センチずれていたが、幸い倒れてはいなかった。

その日、園児を集め、この体験を聞かせた。地震の恐ろしさ、命の大切さ、助け合う心の美しさを少しは感じ取ってくれたと思う。これからも、機会があれば子どもたちに伝え続けたい。

(K・G)

平成17年度 大阪府予算案

平成17年2月15・16日の1泊2日で、府外園長研修が開催された。大阪空港から仙台空港まで1時間10分。松尾芭蕉の句で有名な日本三大絶景とうたわれる松島をはじめ、義経、弁慶にゆかりの深い東北の地を訪ねた。

平成16年度府外園長研修 子育てを安心・喜びのあるものに 在宅家庭も対象に

仙台で

初日、宿泊先についてからすぐの研修会となった。まず、今回の担当プロックである南大阪プロック長宮武勲先生の挨拶の後、高岡部会長から、最近の情勢を含めた挨拶があり、引き続き、研修会を開始した。講演Ⅰは、大阪府健康福祉部児童家庭室の藤田哲士室長から「最近の保育情勢について」と題し、お話しいただいた。

藤田室長は、市町村のアンケートを元に、平成19年度から、要保育児童が減少傾向になっていくため、大阪府としても今までのように新設の保育所を設置するよりも、既存の保育所の活用を考えていきたいと述べられた。

また、昨年12月に決定された「こども・子育て応援プラン」については、4つの重点課題をあげ、平成21年度までの5年間に講ずる具体的な施策内容と目標を提示し、社会がどのような子どもにかかわっていかれるかということ概ね10年後を展望した「目指すべき社会の姿」をあげ、それに向けて内容や効果を評価しながら、この5年間に施策を重点的に実施する内容であり、また、このプランに伴い、大阪府においても行動計画である「子ども・未来プラン」(案)の市町村の目標値を元に各成長段階に応じた取り組みを行うと説明された。

最後に、三位一体改革に伴う補助金改革、新規事業として取り入れる子育て支援保育士事業、総合施設の問題などについてもふれられ、在宅家庭をも視野に入れ、子育ての不安・負担を軽減し、子育ての安心・喜びを創出するための今後の取り組みについてご説明をいただいた。

引き続き、講演Ⅱでは、



講師の藤田室長



講師の石崎常務

宮城県共同募金会の石崎泰司常務理事をお招きし、「宮城の歴史と風土」をテーマに講演がおこなわれた。石崎常務は、宮城県の職員として財政、都市計画、社会福祉などを担当された後、宮城県社会福祉協議会の副会長をされた経歴をお持ちであり、宮城県の歴史について詳しくお話いただいた。

石崎氏は松尾芭蕉の「おくの細道」の松島の部分を取り上げられ、東北の自然について詳しくお話いただいた。

次に、奥州を平定した伊達政宗の主たる業績について述べられ、



聞き入る参加者

また、日本で初めて黒船を作った、政宗の命でメキシコ、ローマ、スペインに渡った支倉常長の半生など、数々の東北にかかわった方達の生き方を語られた。

最後に、最近の話題として、東北楽天ゴールデンイーグルスについて、仙台市をあげて応援していることや、このことが市の活性化に大きく繋がっていることなどを話され、講演をしめくくられた。

(ゆめの子保育園 Y・K)

新年互礼会 — 認定証38人に

平成17年保育部会新年互礼会を、1月31日、上本町の都ホテル大阪で開催した。高岡國士部会長の挨拶の後、葭矢府社協常務のご挨拶があり、その後、育児相談員認定証の授与式をおこなった。

今回、認定を受けたのは38人で、代表として常称寺保育園の岩永房子さん(写



岩永房子さん

真)が大阪府児童家庭室の藤田室長から認定証を授与された。

藤田室長からは新新エンゼルプランなど保育の情勢についての話があり、また、府議会からは、伊山喜二議員と浦野靖人議員がご出席され、ご支援の言葉をいただいた。

参加者は120人で、その後の懇親の時間では、活発に意見交換がなされていた。

サイン見逃さず 正しい対応を



講師の河野朗久先生

大阪府社会福祉会館で2月3日(木)、保育部会主催の「保育現場における法医学的視点」研修会を開催した。講師に大阪府監察医の河野朗久先生をお迎えし、

参加者は101人であった。河野先生の話によると、保育現場で法医学的判断を求められる事故(ケガ)には、乳幼児突然死症候群(SIDS)・虐待などがあ

り、SIDSは原因不明の疾病とされてきたが、世界中で検死解剖などにより原因追求がされ、その考えは否定されつつあるとのことだった。

これまで、突然死した乳幼児には共通点が多いことが分かっており、まず、発生時期は、冬(12月、1月)と夏(8月)に多く、人間にとって不快指数が高くなる時期であることが言える。日頃保育所に子どもを預け、休みに入ると家庭での育児。連休が長いと育児に疲れ、その結果、身体的虐待・ネグレクトなどに

より、亡くなるケースも多いと説明された。SIDSの発生する年齢は、満1か月未満と12か月以上には少なく、満3か月から満5か月が発生のピークとなる年齢である。満3か月までは男子に多く、満4か月からは女子に多く発生しているとのこと。また、河野氏は、うつぶせ寝とSIDSの結びつき

最高級のフルコースでした。「ツールダルジャン」の名譽のために言っておきま

とカモ料理を食べたのです。が、これは実に不愉快で、

あること、このふたつに尽きるのではないのでしょうか。

ことが習慣になれば、食事

子どもが発熱をしたときは、異常サインとみなし、

「おいしいものを食べる」と「おいしくものを食べる」とは、たった一文字の違いですが、その意味は大きく変わりました。

「ツールダルジャン」の今までの人生でワースト3に記録されるほどおいしくない食事でした。

■そんなんです。いくらおいしいものでも、状況が悪いとおいしくないので、それほどおいしい

■さて、現在の子どもたちは食事や給食を「おいしく」食べられる状況で食べさせてもらっているのでしょうか。

食事は時間になっても、あまり体を動かさずに過ごしていたために、それほど

は、異常サインとみなし、感染症や脱水症に注意する。特に脱水症では、保育過誤によるミルクや粉ジュースなどを正しい分量で薄めな

■わたしは、長いくいしんは生活の中で実にたくさんものを食べて来ました。その中で一番おいしかったものは何かと聞かれたら、

「ツールダルジャン」のす、料理そのものは実においしかったハズなのではないか、状況が悪かったのです。

■そうなんです。いくらおいしいものでも、状況が悪いとおいしくないので、それほど

■さて、先月の「保育おおさか」の「あの人：この人」欄に、編集長が、このコーナーも三月で終了しますとの記事が載っていました。

■さて、先月の「保育おおさか」の「あの人：この人」欄に、編集長が、このコーナーも三月で終了しますとの記事が載っていました。

は、異常サインとみなし、感染症や脱水症に注意する。特に脱水症では、保育過誤によるミルクや粉ジュースなどを正しい分量で薄めな

■わたしは、長いくいしんは生活の中で実にたくさんものを食べて来ました。その中で一番おいしかったものは何かと聞かれたら、

「ツールダルジャン」のす、料理そのものは実においしかったハズなのではないか、状況が悪かったのです。

■そんなんです。いくらおいしいものでも、状況が悪いとおいしくないので、それほど

■さて、先月の「保育おおさか」の「あの人：この人」欄に、編集長が、このコーナーも三月で終了しますとの記事が載っていました。

■さて、先月の「保育おおさか」の「あの人：この人」欄に、編集長が、このコーナーも三月で終了しますとの記事が載っていました。

は、異常サインとみなし、感染症や脱水症に注意する。特に脱水症では、保育過誤によるミルクや粉ジュースなどを正しい分量で薄めな

おいしく食べよう

落語医者 保育うだうだ話

です。

しかも、その夫婦は離婚

ものではなくても、状況が

空腹を感じていない子ども

わたしも、その予定だっ

頃から発生時の役割分担と

寸前で、双方が相手の精神

よければおいしく食べられ

たのみにして、その予定だっ

たのですが、食育の話など

蘇生処置を身につけておく

が、どちらが悪いかを判定

「言い方をかえれば、「何を

また、せっかくおいしい

この「食育」の話が終わる

ども安全に繋がると改め

いながら、超高級なワイン

①空腹である

こんな状況で食事をする

まで、あとしばらくご辛抱

て感じる研修となった。

プロックだよ

ボーリングで職員間交流

河内ブロック・八尾

河内ブロック八尾私立保育連盟保育士会は、第三回研修会として、1月21日に

八尾ボウル・アローでボーリング大会を開催し、16か園64人の保育士が、ボーリングの腕を競った。

さくら保育園和田秀之連盟会長の始球式から始まり、熱戦の末、みごと千塚保育園の男性保育士が205と

いうハイスコアで個人優勝した。「優勝したことももちろんうれしいですが、他園の保育士の方々と交流や情報交換をすることが、普段の保育にも生かされます」



優勝者。

というのも、この研修会の第一のねらいは職員間交流。以前は園ごとのチームで行われたが、より交流をと、昨年度から全ての園の保育士をシャッフルしてチームを作るようになった。

保育園をたずねて

325

堺市 深井保育園

泉北高速深井駅から徒歩10分、小学校とソフィア堺に囲まれた、堺市の民間移管第1号の保育園、深井保育園を訪ねました。園内は改善され、すばらしい保育環境になっていました。

「健康な子ども」、「みんなと仲良く遊ぶ子ども」、「考えて工夫する子ども」、「感動し、豊かに表現する子ども」、「身辺処理のできる子ども」を目指して保育され、生き生きと遊ぶ子ども



もたちの元気な姿が印象に残りました。

小学校や老人施設を訪ね、一緒に遊び、心身の成長に活かしておられました。

近隣の乳児と保護者を対象にした子育て支援の「ほっぺちゃんくらぶ」「びびちゃんくらぶ」の日があり、この日は「ほっぺちゃんくらぶ」の日で、親子で楽しく遊び、子育ての喜びや悩みを話し合っ、笑いがいっぱいでした。

その後の親睦会も、同職ながらの話題で盛り上がりを見せた。ご協力ありがとうございました。

(千塚保育園 K・S)

たのしくうたおう

ら・ら・ら

北大阪ブロック研修会

北大阪ブロック会では、1月26日、神戸を中心に活動中の橋田波子さん(ピアノ)、岸本怜子さん(歌唱指導)をお迎えし、もっと子どもたちが表現力豊かに、楽しく伸びやかに歌えるようという内容で、「たのしくうたおう」と題して、講演会を開催しました。

橋田さんは、主要三和音による伴奏のバリエーションや、速さと高さによる表現の違いなど、主にピアノ伴奏について話されました。

また、岸本さんは、歌うときの発声について話され、体をどうすれば声が出やすくなるか、参加者とともに一番声が出やすい形だというファイティングポーズを

このコーナー、はじめは「ことわざ保育むだ話」、平成7年7月からは、「創作・保育ことわざ集」、平成11年4月から「やさしい児童精神医学入門」、平成15年2月から「落語医者の保育うたうだ話」と、現在に至っている。もとより人気のコーナーの記事だけに私としても渡りに船、是非お願いします!!と即決。絶妙な表現と分かりやすさでしばらくは皆さんを楽しませてくれることでしょう。ホッ。



このコーナー、はじめは「ことわざ保育むだ話」、平成7年7月からは、「創作・保育ことわざ集」、平成11年4月から「やさしい児童精神医学入門」、平成15年2月から「落語医者の保育うたうだ話」と、現在に至っている。もとより人気のコーナーの記事だけに私としても渡りに船、是非お願いします!!と即決。絶妙な表現と分かりやすさでしばらくは皆さんを楽しませてくれることでしょう。ホッ。

じられた研修となりました。(大東わかば保育園 A・Y)

〈お詫びと訂正〉

2月号に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。第2面

保育海外研修参加者名簿

〈誤〉「千塚保育園」

〈正〉「千塚保育園」

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部 TEL 6762-9001
発行人 土勝
高岡 編集
水崎